

背景・目的

市内では基幹品種として‘冬霧7’が栽培されていますが、コンパクトな草姿で糖度の上りが良いとされる、新品種‘WSP32’などの品種特性を調査しました。

結果




栽培・出荷時期の目安（出荷の目安は調製後重量40g以上）

品種名	作期	9月		10月			11月			12月			1月		
		中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
冬霧7	1	播種⇒育苗		定植⇒生育			収穫⇒			※					
	2	播種⇒育苗		定植⇒生育									収穫⇒		
WSP32	1	播種⇒育苗		定植⇒生育			収穫⇒			※					
	2	播種⇒育苗		定植⇒生育									収穫⇒		
寒味・極	1	播種⇒育苗		定植⇒生育			収穫⇒			※					
	2	播種⇒育苗		定植⇒生育						収穫⇒					

※作期1では1月下旬に障害が多発

【作期1】収穫調査結果

※標準品種‘冬霧7’に比べて優れている項目（ ），劣っている項目（ ）

品種名	出芽率 (%)	調製後 収量 (kg/a)	糖度 (Brix%)	主な特徴	写真
冬霧7	88	208	10.5	<ul style="list-style-type: none"> ・収量性はやや低い ・作業性が良い ・糖度が高い 	
WSP32	82	225	9.4	<ul style="list-style-type: none"> ・収量性が高い ・草姿は立性気味で収穫しやすいが、袋詰めしづらい 	
寒味・極	83	227	8.9	<ul style="list-style-type: none"> ・収量性が高い ・作業性が良い ・糖度はやや低い 	

- ・収量で選ぶなら・・・‘寒味・極’、‘WSP32’
- ・糖度で選ぶなら・・・‘冬霧7’、‘WSP32’
- ・作業性で選ぶなら・・・‘冬霧7’、‘寒味・極’



袋詰め後の様子（左から‘WSP32’、‘冬霧7’、‘寒味・極’）

結果の活かし方

今回調査した3品種は、いずれも当地での栽培適性があると考えられますが、収量、糖度、作業性等の特性に応じた品種を選択することをお勧めします。